

# 北川の通信

2014年10月12日

vol. 104

秋空  
天高し  
号

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>  
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

10/19(日) 秋の北川クリーンアップ、お手伝い下さい！



## 報告 東京都から感謝状をいただきました

北川かっぱの会が永年の河川ボランティア活動により、東京都建設局長から感謝状をいただきました。感謝状の贈呈式は7月29日に都庁内の都民ホールで行われ、北川かっぱの会からは4名が参加しました（東村山市の肥沼次長にも来ていただきました）。当日は北川かっぱの会の活動状況についてのプレゼンテーションの場もあり、現状と課題について報告を行いました。感謝状の名に恥じないよう、これからも北川流域の環境保全活動をしっかりと行っていきたく思いますので、引き続き皆様方からのご理解、ご支援をいただければと思います。なお、副賞でいただいた東京水辺ラインの乗船券を活用したウォークを11月23日（日）に開催します。皆様方の参加をお待ちしております。

## 報告 北山わんぱく夏まつり



8 / 3(日)は夏休み恒例の「北山わんぱく夏まつり」、これで19回目です。今年も夏らしい暑い一日になりました。

私は北川ウォーク、カヌー体験、八国山虫とりハイクに参加。イベントの合間に本部近くに戻ってくると、昆虫標本や水槽の中の生き物の展示を食い入るように見ている子どもや、大きな生き物に驚いてお父さんに泣きついている幼児たちが印象的でした。

北川ウォークは魚とりの入門にはうってつけです。タモ網(さかなとり用の網)を借りて川にあります。でも、網をもっているだけでは簡単には魚はとれません。ちょっとしたコツを教えてもらうと、「あっ、とれた」という子どもたちの歓声があちこちであがりました。お父さんも真剣になって魚とりしている姿がみられました。川は浅いところが多いので、ちいさな子どもでも大丈夫。お父さんやお母さんといっしょに川に入れば家族で楽しめます。



縄文人の紙芝居も人気



今年の八国山昆虫ハイクは例年にもまして大人数の参加になりました。八国山の道は迷路のようになっています。その森の中をスタッフが昆虫のいそうなヒミツポイ

**ザリガニをつかめるよ!**

ントを案内してくれました。日中だからあまり昆虫は出ないかなと思っていたのですが、カブト虫がけっこうとれました。

カヌー体験は今年も盛況。整理券配布に長蛇の列ができました。今年は小学生低学年を中心に比較的年齢が上がった気がしました。そしてみんなけっこうカヌーを上手に操っていました。リピーターも多かったようです。



どのイベントでも子どもたちの笑顔が・・・あまりなかったです。

実は子どもたちって本当に真剣になると笑顔どころか、ちょっと怖い顔になるんですね。笑顔ってのは、お父さんやお母さん、知り合いの大人に余裕をかますときには出るけれど、ほんとうに熱中したらそんな余裕はありません。子どもたちは本当に夢中になっていました。

イベントに参加しながら写真も撮っていたのですが、なかなかいい場所がありました。カメラお父さんお母さんにおすすめです。

北川ウォークは北山小学校の校庭のはずれあたりに川におりるところがあります。そこへ先回りして下流方向へカメラを向けると、青空を背景に草むらから出てくる子どもたちが撮れます。

虫取りハイクは、補虫網を木にかざしている写真が定番だともいますが、集団から少し離れてまわりも入れると、山の中に来たような写真になりました。



カヌーは、北山公園の入り口の善行橋です。そこからやや望遠気味にねらいます。川の水を止めている堰の後ろ側に降りるとなおグッド。すべりやすいし、壁を降りていかなければならないのでチャレンジですが。

今年もわんぱく夏まつりは夏休みのいい思い出になったと思います。大人になって思い出してくれるかな。

写真も(はんべえ)

## 報告 川端会議

9/6(土)北山公園整備計画意見交換会(いわゆる「川端会議」)に、北川かっぱの会からは4名が参加しました。意見交換会では、希少な動植物(トウキョウダルマガエルなど)の保護、外来生物(アカミミガメなど)の駆除、北山公園内の水の通年確保の方法などについて意見が交わされました。議論に時間をかけたのは、北山公園内の水田耕作を市民参加で維持できないかということです(詳細は9/7付け「かっぱブログ」を参照)。

北山公園内では、現在、私有地及び学校田で水田耕作が行われています。ところが、私有地の一部については所有者(耕作者)の高齢化により、学校田についても様々な事情により、耕作が困難になりつつあります。北山公園に欠くことのできない水田の景観を守っていくこと、希少

種をはじめとした在来生物を守っていくために、将来、市民参加による水田耕作が出来ないか、議論されました。

市役所からは、市民が水田耕作を行う先進的事例として野山北・六道山公園と茅ヶ崎里山公園(神奈川県)の事例報告があり、北山公園ではどうすれば市民参加が可能か意見交換がなされました。当日は活発な議論が繰り広げられましたが、まず市民組織を立ち上げ、市役所と協働しながら高齢な耕作者等から実技を学び、徐々に市民組織主導で自ら耕作を行っていくことを目指すなどの方向で検討されることになりそうです。耕作者から実技を学ぶための時間は限られていると思われる、来シーズンからの実践を目指し、検討されていくこととなりそうです。



## 予告 北川クリーンアップと北川のオオフサモ駆除

10/19(日)は秋の北川クリーンアップです(10時開始)。今年で20年目、39回目の開催となります。クリーンアップが20年間続いてきたのは、多くの仲間を支えられてきたからだと思います。今後も、北川のゴミがなくなるまで一緒にがんばっていけたらと思います。毎回、北川に捨てられているゴミに怒りを覚えつつも、水の中で戯れる魚に心癒されます。今回も皆様方の参加をお待ちしております。

また、前日10/18には、北川で繁殖している特定外来生物のオオフサモの駆除作業を行います。オオフサモは繁殖力がとても強く、駆除作業は大変ですが、北山公園を含む北川流域の環境を守っていくためには不可欠な作業となっています。こちらも多くボランティアの参加をお願いします。

## 報告 古座川「川の学校」

和歌山県古座町の古座川で開催された「川の学校」にボランティアで参加してきました。きっかけは、障害者カヌーのボランティアで知り合った仲間からのお誘いです。カヌーイストの野田知佑さんが校長を務め各地で開催されているようです。

全日程は3日間。金曜日の午後開校式。開校式後は早速川遊び。翌日土曜日は、午前中各自でやりたい川遊びをし、午後はカヌーで川下りや岩からの飛び込み。夕食後は野田さんのお話しとハーモニカ演奏。最終日は竿でカエルを釣ったりし(雨の為)昼食後閉校式。

子供達には、川遊びを満喫させるため一切の事は社会人と学生ボランティアが実施。学生ボランティアは事前に行われていたボランティア講習で釣りや泳ぎ、注意事項を学び、子供達の遊びのリーダー役。社会人のボランティアはその見守り。ルールが幾つかあり、子供はしたいことをリーダーに言う事。そして大人は「だめ」と禁止する言葉を言うてはいけないこと。「ダメ」と大人が言うると子供は言わないでやってしまう可能性があるからです。活動前のミーティングで何をしたいかを言う事。一日を終えて何が楽しかったかを発表する事です。

終日、雨に降られ土曜日はテントを畳み古民家での宿泊になってしまいました。どこでも楽しく過ごせるのが子供。遠くは北海道の帯広から来ている子もいて、上級生から魚の掴み方やさばき方を習い一回り大きくなって帰って行きました。

最近の大人は川で遊んだことが無いため、川遊びを禁止したり、川を守ったりすることが出来ない人が増えています。川での安全な遊び方、楽しい事を子供たちに伝えながら、社会人や学生にも伝え関心を持つことが大切なのだと思いました。(宮田文子)



魚をさばく



## 報告 アカミミガメ防除講習会

7/19(土)～20(日)「第3回アカミミガメ防除講習会(主催;認定NPO法人生態工房、協力;北川かっぱの会)」が開催されました。今年は、東村山駅前サンパルネで座学、北山公園しょうちゃん池で実習が開催されました。

座学ではNPO法人カメネットワークジャパンの小菅康弘さんより「在来カメの現状と外来カメの防除の意義」について、生態工房の佐藤さんや片岡さんから防除計画、防除事例、法制度、普及啓発活動の話がありとても興味深い内容のものばかりでした。また、北川かっぱの会からは、北山公園でのアカミミガメ防除の実際についてお話をしました。

北山公園での実習では、普段仕掛けを行っている「カメもんどり」に加え、張網(定置網)や、遮光型カゴ網、アナゴ用の網も仕掛けました。20日の網の回収への期待感はかなり高まりましたが、捕獲の結果は以下のとおりでした。

カブトニオイガメ1(背甲長150mm、腹甲長105mm;北山公園では初めて捕獲した外来種。誰かが廃棄したと思われる)、クサガメ1(背甲長126mm、腹甲長105mm)、ウシガエル(成体1、幼生19)、アメリカザリガニ約40、モクズガニ8、その他モツゴ、ギンブナ、メダカが多数、ドジョウ、トウヨシノボリ、スジエビ、テナガエビなども捕獲しました。今回、アカミミガメの捕獲には至りませんでした。カブトニオイガメを捕獲したことが大きな驚きでした。

意見交換の中では、しょうちゃん池は形状が人工的単調で、様々な生き物のためにはより自然に近い形での池の改良(ワンドのようなものを岸部につくるなど)が必要ではないか、との指摘がありました。

全体を通して、とても有意義な講習会であったと思います。企画を持ち込んでいただいた生態工房の皆様や、いろいろな情報を教えていただいた参加者の皆様に深く感謝したいと思います。北川かっぱの会では、今後も継続して外来生物の駆除に取り組んでいきたいと考えています。

様々なワナを解説 ▶

定置網を設置する ▶▶



## 2014年 10月～12月 活動スケジュール

ホはホランティア募集の略

性別、年齢、経験不問、HP、ブログ(検索:北川かっぱの会)

または直接会員にお知らせください

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

11/8、12/13(土) ホ

集合:北山小正門前

秋の北川クリーンアップ 4頁参照

10/19(日)10:00-12:00 北山小西側大関橋、精心幼稚園北・将陣場橋、宅部遺跡橋または水道橋集合。河川とその周辺の清掃。長靴、手袋など作業ができる服装で。雨天中止。

かっぱウォーク

11/23(日)10:15 東村山駅改札口集合。北川の水が流れる隅田川下流のウォークです。詳細は7頁参照。



北川のオオフサモ駆除 ホ

10/18(土)15:00～15:30頃 宅部遺跡橋集合。北川で増殖している特定外来生物オオフサモの駆除。長靴、手袋などを持参。雨天中止。

小学校土曜講座 ホ

富士見・南台小 野鳥観察

11/22(土)ごろ 午前:東村山中央公園、午後:北山公園 日程はブログに掲載します

かっぱ定例会

11/22(土)15:30～16:30(茫々亭) 来年3月頃までの活動予定を中心に検討します。

多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

10/18、11/15(第3土曜)13:30～

10/22(第4水曜)13:30～

11/2(第1日曜)9:00～

畑にて維持管理作業&収穫



## 東村山産ヒラタクワガタ飼育日記

僕は、ここ数年東村山産のヒラタクワガタを飼育しています。市内に残る雑木林や里山には多くのクワガタが棲息しています。一番よく目にするのはコクワガタ、次がノコギリクワガタで、ヒラタクワガタはあまり見かけません。また、元来臆病な性格なようで、クヌギやコナラの樹洞の奥に隠れていることが多く、見つける事が難しい事もあるからでしょうか。

今年は家で飼育していたヒラタクワガタから少ないですが 8 匹の幼虫が生まれました。現在市販の菌糸ビンで飼育しています。写真はその中の一匹で体長 8 センチ程に大きく育っています。成虫になった時の大きさは、夏に卵から羽化してから 4 か月以内の成長度合いで決まります。この個体はきっと立派な成虫に育つ事でしょう。来年が楽しみです！その時はまた報告しますね！（中谷）



### 予告 かっぱウォーク

11/23(日) かっぱウォークを開催します。北川の水が流れる隅田川の下流域のウォークです。橋や建築などの著名な近代遺産を見ながら、南千住から両国までの約12kmのウォークを予定しています。途中、会員の宇井さんの写真展も見学。ウォーク後、東京都からいただいた感謝状の副賞（東京水辺ラインの乗船券10枚）を活用し水上バスに乗船。東京スカイツリーを船から眺めます（雨天の場合は年末に順延）。

東村山駅10:15集合 高田馬場経由 南千住駅11:30 隅田川沿いを両国までウォーク（途中、昼食） 両国15:25

水上バス（浅草経由）明石町・聖路加  
が-テン前16:00 東村山17:30頃

交通費；往復1100円程度、昼食を持参（途中でも購入可能）。終了後、有志による忘年会を月島（もんじゃ焼）で開催予定



## 報告 北山小 八国山虫取りハイク

去る7/19、今年も恒例の北山小学校土曜講座の虫取りハイクが行われました。

早朝5時に北山小学校の正門前に集合し、総勢30人(子ども16、+保護者、スタッフ14)は夜が明けたばかりの八国山緑地へと元気に向かいました。例年ですが、我々虫取りハイクの掟(オキテ)では、「カブトやクワガタなどの獲物は第一発見者に権利がある」と決めています。そうしないと、体力のある高学年の子が断然有利になり、低学年の子たちは何もつ捕まえられない事になってしまいます。子供たちはきちんとこの「オキテ」を守ってくれました。

ここ数年、毎年のように樹液の出る樹が枯死しています。調べてみるとカシノナガキクイムシによる害なののでしょうか、はっきりは解りません。樹液ポイントが変わっています。ハイクの予定は約2時間程度で、途中ほっこり広場で持参した朝食を食べました。今年も子供たちの生きいきとした虫取りまなこの輝きで早朝の八国山が賑わいました。みんな比較的多くのカブトムシやクワガタに出会えたようです。来年も行こうね！(中谷)



樹液酒場に集まるカブトムシ

## 報告 川で小学校の土曜講座を開きました

暑さも一段落した9/13(土)、午前、北山小(児童12名+飛び入り)、午後南台小・富士見小混成チーム(水のふしぎ発見隊:児童11名)というダブルヘッダーで北川で魚捕りをしながら水に親しみました。

午前の子供たちは、北山小校庭前の親水テラスから上流側の大堰までの間で魚捕り、午後の部は、北山公園東側入口になる善行橋から北山小前親水テラスまでで魚捕りをしました。

いずれの講座とも、まずスタッフの岡田さんから、手網の構え方～足を使った魚の追い込み方まで、きっちり実践指導を受けてから手網をもって



川に入りました。…が、なかなか獲物がなく、苦戦している低学年の子もいました。スタッフとしては、驚いた魚はどのような所に逃げ込むか、そしてその攻略法～獲物が網に入った時の興奮をすこしでも子供たちに（父兄にも??）体感してもらえたら嬉しいところです。

開始前には全体的に遊泳魚の姿が少ないような印象を受けましたが、結果、ドジョウやアメリカザリガニ、ヌマエビ類などいつものメンバーが登場！。特に、午前部では15cm程もあるカマツカや水生昆虫のミズカマキリ（針のような口で相手の体液を吸う水中のハンター）も捕れました。午後部では、善行橋・魚道下のたまりで、投網をみんなで広げて落として、手網では手強い大きなオイカワを捕まえました。

捕れた獲物は水槽に入れて名前調べをしたあと、自宅で飼える子は少しだけ持ち帰りました。また、丹沢湖ビジターセンターの池上さんにカエル（ウシガエル）とカメ（ミシシippアカミミガメ）の骨格標本の説明をしてもらいました。カメの甲羅はろっ骨由来なのです！

水の中に棲むいろいろな生き物にも会える川遊びは楽しいです。滑って水浸し…など、ちょっとしたスリルを通じて川の危険性も身をもって会得するためにも、親子で魚釣りなどいかがでしょうか。（康）



## **報告** 南台・富士見小土曜講座・水のふしぎ探検隊

9/13 午前中の南台・富士見小土曜講座は、久々に参加児童が10人を上回り、北山公園でトンボとの触れ合いを楽しみました。

メインテーマはアカトンボなのですが、代表的なアカトンボのアキアカネなどは暑さに弱く、厳しい残暑だと姿を見ることができません。今年は9月に入って涼しい日が続き、彼らにとって理想的な気候と思われたので、多くのアカトンボ類が見られるものと期待していました。

トンボについての説明をした後、みんなで北山公園の中に散って、トン

ボを探して捕まえます。例年通りシオカラトンボがたくさんいて、虫捕り経験の乏しい児童もなんとか捕まえることができました。ところが不思議なことに、アカトンボ類がほとんど見つかりません。この時期には多く見られるはずのウスバキトンボも見当たりませんでした。コンディションは良いはずなのに、自然や生き物には謎がいっぱいで予想が付きません。



それでもみんながそれなりにトンボと触れ合い、知ることができたので良しとしましょう。(ビー永島)

## 報告 北山小 トンボ、バッタ捕りとヤゴいかだ作り

9/23 秋分の日、ヤゴいかだ作りを行った。例年ではトンボ捕りとセットで行うのだがトンボ捕りの日程が10月になり、トンボの産卵時期に間に合わせるため早めの開催とした。予定外の日程にもかかわらず興味津々の子どもが12人集まり、いかだにのせる草をたくさん集めてくれた。これでトンボも安心して産卵できるでしょう。



ヤゴいかだ進水式後の記念撮影

10/11(土)北山小の講座の最後であるトンボ捕りを行った。トンボだけでなくつまらないので今回はバッタも捕まえることに。北山公園、八国山へ。ところがトンボがめっきり少なくなってしまい成果少なく、アキアカネ、シオカラなどのみ。トンボ以上におもしろかったがバッタ。ショリョウバッタやオンブバッタ、コオロギ、カマキリなど。カマキリのお腹から寄生虫のハリガネムシが出てきみんなびっくりしていました。(遊星歯車)



## 寄付金に深謝

・コバヤシホタカ様 3,000 円  
5/19 の春の北川クリーンアップでカンパをいただきました。ありがとうございました。

## 北川かっぱの会 会議日程

11/22 (土) 15:30 ~ 16:30

### 茫々亭

来年 3 月頃までの活動予定を中心に検討します。

## DINING MOGU MOGU 紹介

会員の「シゲ」こと萩原繁郎さんが飲み屋さんを始めました。本誌持参の方は初回ドリンク 1 杯無料とのこと。

TEL : 042-403-6553

編集後記

やれやれ北山小学校の土曜講座がようやく終わり、事故、けがもなく無事に終わりほっとしています。ご協力いただいた皆さんに感謝。子どもたちにも感謝。なかなか子どもに太刀打ちできず苦戦していますが、いきもののおもしろさを感じる感性には感心します。子どものときの感性、忘れてしまった部分とまだ密かに持っている部分、後者に磨きをかけたいと思います。秋の紅葉シーズンに外に出かけて磨きたいです。(遊星菌車)



## かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

会費 年間 3000 円

「かっぱ通信」年 5 回をお送りします。

問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

会費振込先

[郵便振替 00120-6-104476]

[りそな銀行東村山支店

(普)3605694]

加入者名 北川かっぱの会

かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。



## 北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21 世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000 円 送料 82 円  
新会員には無料贈呈

『北川流域マップ - 未来の川へ - 』北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A 2 両面版 頒価 200 円

『八国山・北山公園の生き物観察ガイド』

A 2 両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

発行:北川かっぱの会 連絡アドレス  
CZT12221@nifty.ne.jp